



## 2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月15日

上場会社名 ロジザード株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4391 URL <https://www.logizard.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 金澤 茂則  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 三浦 英彦（TEL）03(5643)6228  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（投資家向け・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年6月期第3四半期の業績（2024年7月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	1,634	11.3	358	41.3	359	41.8	265	44.1
2024年6月期第3四半期	1,468	5.4	253	4.1	253	4.1	184	12.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2025年6月期第3四半期	82.63		80.88					
2024年6月期第3四半期	57.68		56.32					

## （2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
2025年6月期第3四半期	2,437		2,159	88.6		
2024年6月期	2,256		1,924	85.3		

（参考）自己資本 2025年6月期第3四半期 2,159百万円 2024年6月期 1,924百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年6月期	—	0.00	—	16.00	16.00	0.00
2025年6月期	—	0.00	—			
2025年6月期（予想）				18.00	18.00	

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,214	12.0	400	15.6	400	15.6	281	11.3	87.54	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年6月期3Q	3,295,000株	2024年6月期	3,291,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年6月期3Q	65,521株	2024年6月期	80,201株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年6月期3Q	3,218,470株	2024年6月期3Q	3,198,730株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無

法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ（業績予想などの将来予想情報に関する説明）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(収益認識関係) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における国内経済は、賃金の上昇や定額減税が個人消費を支え、また企業の設備投資も増加することで、緩やかな回復基調が継続する一方で、米国の通商政策の影響による景気の下振れ、物価上昇の継続による消費意欲の低下など、先行きへの不透明な状況は深まり、今後の投資判断に停滞が生じる可能性も予想されています。

また、物流業界においては、引き続き物価上昇により貨物量が見通しづらい環境の中にあいながらも、慢性的な人手不足の解消に向け、作業生産性の向上に寄与する技術導入を図り、2024年問題への対応の取組みを進めています。

このような環境下、当社は、①BtoBに広がるWMSニーズ、②人手不足を解消する自動化トレンド、③店舗のスマート化とオンラインとの融合等の取り組みを行ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は1,634,479千円（前年同期比11.3%増）、営業利益358,278千円（前年同期比41.3%増）、経常利益359,499千円（前年同期比41.8%増）、四半期純利益265,953千円（前年同期比44.1%増）となりました。

なお、当社は、在庫管理システム事業を単一セグメントにしているため、セグメント別の記載を行っていませんが、サービス別の業績は、以下のとおりであります。

#### (クラウドサービス)

当サービスにおいては、新規取引先の増加などにより順調に推移し、当第3四半期累計期間における売上高は1,282,434千円（前年同期比9.3%増）となりました。

#### (開発・導入サービス)

当サービスにおいては、大型案件及び既存取引先からの継続案件の受注があったことにより、当第3四半期累計期間における売上高は282,351千円（前年同期比24.0%増）となりました。

#### (機器販売サービス)

当サービスにおいては、専用プリンター及び帳票などのサプライ品の販売が順調に推移し、当第3四半期累計期間における売上高は69,692千円（前年同期比2.9%増）となりました。

### (2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

#### (資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は、前事業年度末に比べて181,032千円増加し、2,437,711千円となりました。

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて84,997千円増加し、1,945,139千円となりました。この主な要因は、賞与及び配当金の支払があったものの、売上増加による売掛金の増加及び資金を回収したことにより現金及び預金が増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて96,035千円増加し、492,571千円となりました。この主な要因は、「ロジガード ZERO」の基本機能のバージョンアップを行ったためソフトウェアが増加したことによるものであります。

#### (負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べて53,530千円減少し、278,309千円となりました。この主な要因は、未払賞与を支払ったものであります。

#### (純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて234,563千円増加し、2,159,401千円となりました。この主な要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期の業績予想については、2024年8月14日公表の「2024年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,537,575	1,620,070
売掛金及び契約資産	243,951	215,342
商品	2,978	3,323
仕掛品	19,642	22,149
その他	56,678	84,491
貸倒引当金	△684	△237
流動資産合計	1,860,141	1,945,139
固定資産		
有形固定資産	65,618	63,803
無形固定資産		
ソフトウェア	236,431	316,337
その他	18,432	34,485
無形固定資産合計	254,864	350,823
投資その他の資産		
繰延税金資産	48,044	48,044
その他	28,291	30,436
貸倒引当金	△282	△537
投資その他の資産合計	76,053	77,944
固定資産合計	396,536	492,571
資産合計	2,256,678	2,437,711
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,709	27,198
未払金	103,894	99,742
未払法人税等	73,524	54,543
賞与引当金	—	35,443
その他	129,711	61,381
流動負債合計	331,839	278,309
負債合計	331,839	278,309

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	303,404	303,884
資本剰余金	295,906	296,386
利益剰余金	1,453,008	1,662,966
自己株式	△127,481	△103,836
株主資本合計	1,924,838	2,159,401
純資産合計	1,924,838	2,159,401
負債純資産合計	2,256,678	2,437,711

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,468,359	1,634,479
売上原価	667,348	707,272
売上総利益	801,011	927,207
販売費及び一般管理費	547,407	568,928
営業利益	253,603	358,278
営業外収益		
受取利息	13	1,022
受取手数料	—	225
還付加算金	50	—
その他	3	—
営業外収益合計	68	1,248
営業外費用		
為替差損	83	25
その他	—	2
営業外費用合計	83	27
経常利益	253,588	359,499
特別損失		
固定資産除却損	6,648	—
特別損失合計	6,648	—
税引前四半期純利益	246,939	359,499
法人税等	62,435	93,546
四半期純利益	184,503	265,953

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社の税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、在庫管理システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	62,769千円	75,239千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	サービスの名称			合計
	クラウドサービス	開発・導入サービス	機器販売サービス	
一時点で移転される財又はサービス	—	168,132	62,753	230,886
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,172,860	59,638	4,974	1,237,473
顧客との契約から生じる収益	1,172,860	227,771	67,727	1,468,359
外部顧客への売上高	1,172,860	227,771	67,727	1,468,359

当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	サービスの名称			合計
	クラウドサービス	開発・導入サービス	機器販売サービス	
一時点で移転される財又はサービス	—	172,955	64,165	237,120
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,282,434	109,396	5,527	1,397,358
顧客との契約から生じる収益	1,282,434	282,351	69,692	1,634,479
外部顧客への売上高	1,282,434	282,351	69,692	1,634,479